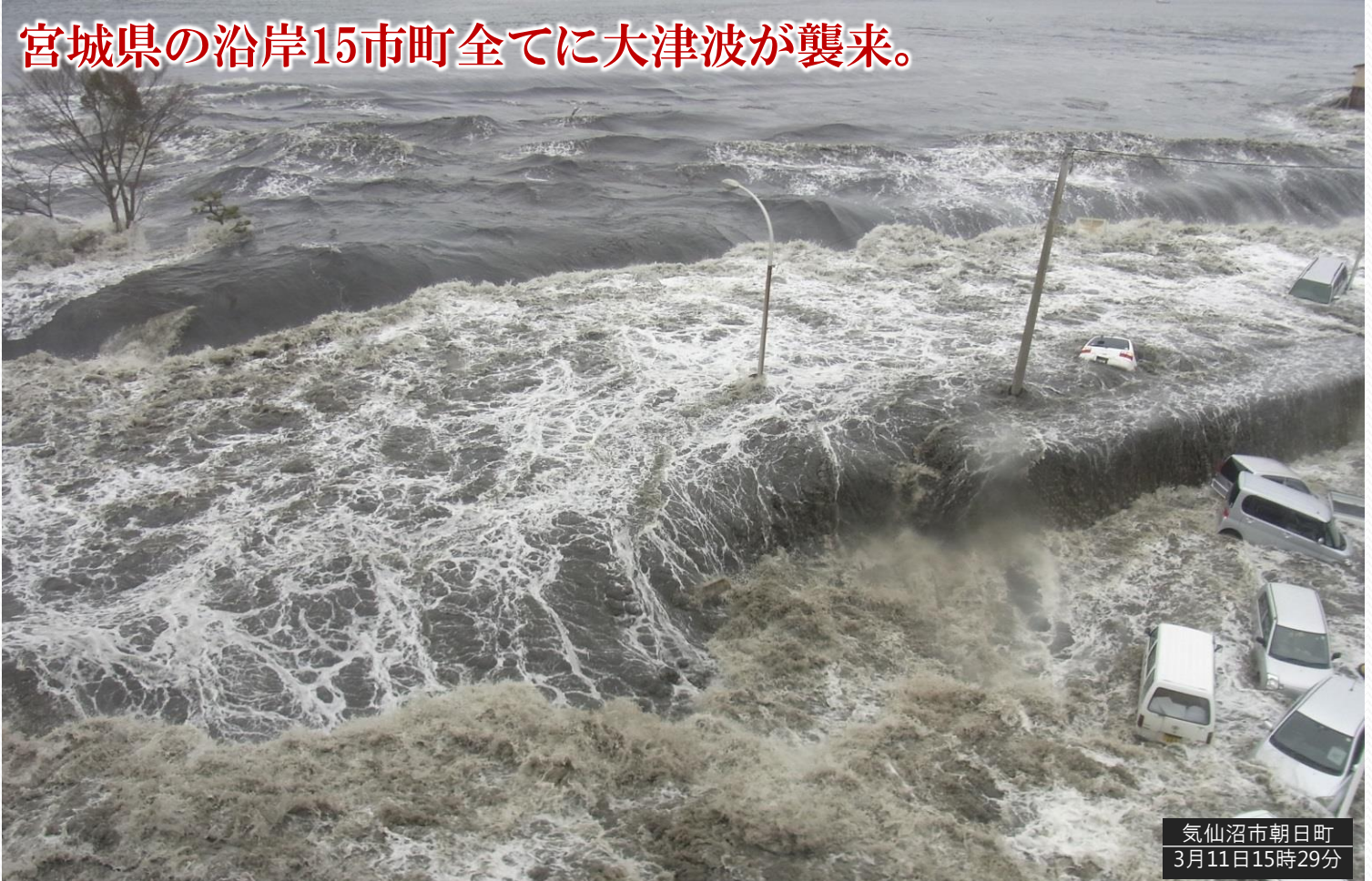


太平洋沿岸に

大津波襲来

宮城県の沿岸15市町全てに大津波が襲来。



気仙沼市朝日町
3月11日15時29分

地震により発生した津波は、北海道から沖縄県にかけて太平洋沿岸に押し寄せ、すさまじい勢いであらゆるものを押し流しました。宮城県石巻市鮎川で8.6m以上の津波が観測されたのをはじめ、東日本太平洋沿岸では想定を超える非常に高い津波が観測され、観測史上最大規模の大津波となりました。

宮城県の沿岸北部のリアス式海岸では、海岸から内陸へ津波がかけあがり、沿岸南部の平野部では内陸へ数キロメートルにわたり津波が押し寄せ、河川を遡上した津波が氾濫し、県土の約327km²が浸水しました。そして、津波火災、多数の孤立者や孤立地域を発生させました。

地震発生後の14時49分に宮城県には津波警報(大津波)が発表されましたが、その後切り替わった津波注意報が解除されたのは、発災から2日後の13日17時58分でした。

津波等の概要

津波の高さ 石巻市鮎川 **8.6m以上**

※なお、最大浸水高は南三陸町(志津川)で19.6m、最大遡上高は女川町で34.7mが確認されています。

浸水面積 **327km²**

※県面積の4.5%。東日本大震災における全浸水面積561km²の約60%に相当

地盤沈下 [海拔0m以下の面積] **56km²**

※震災後増加割合3.4倍